

予算説明資料

令和 8 年度 6 月補正予算

倉吉市

目次

1	会計別一覧表.....	3
2	基金の状況.....	4
3	事業説明.....	5
4	交付金充当事業一覧.....	20

令和 8 年度 6 月補正予算 会計別一覧表

(単位：千円)

区 分		補正前の額	補正額	計
一 般 会 計		33,605,169	129,144	33,734,313
特 別 会 計 小 計		11,487,166	0	11,487,166
	水 道 事 業	1,899,503	0	1,899,503
	下 水 道 事 業	5,059,379	12,000	5,071,379
企 業 会 計 小 計		6,958,882	12,000	6,970,882
合 計		52,051,217	141,144	52,192,361

基金の状況【令和8年度6月補正】

(単位：千円)

区 分	令和7年度末 現 在 高 A	令和8年度		令和8年度末 見 込 額 A+B-C	補正時における 増減
		積立見込額 B	取崩見込額 C		
文 化 基 金	3,449	9	0	3,458	
博 物 館 資 料 整 備 基 金	4,426	11	0	4,437	
緑を守り育てる基金	18,290	43	1,538	16,795	
職 員 退 職 手 当 基 金	145,977	1,107	0	147,084	
公 共 施 設 等 建 設 基 金	27,378	58	0	27,436	
教 育 振 興 基 金	177,059	615	1,288	176,386	
ふるさと農村活性化基金	17,985	38	0	18,023	
若者の定住化促進基金	402,394	1,132	77,600	325,926	
遥かなまち倉吉ふるさと基金	1,636	5	0	1,641	
企 業 立 地 推 進 基 金	11,682	25	0	11,707	
地 域 産 業 振 興 基 金	21,391	58	0	21,449	
倉吉ふるさと未来づくり基金	663,500	906,613	1,039,953	530,160	取崩500千円
三 松 奨 学 育 英 基 金	50,816	5,720	4,254	52,282	
森 林 環 境 整 備 基 金	19,000	51,731	57,769	12,962	
財 政 調 整 基 金	1,627,039	79,771	585,720	1,121,090	取崩14,155千円
減 債 基 金	1,229,199	135,119	426,160	938,158	
計	4,421,221	1,182,055	2,194,282	3,408,994	

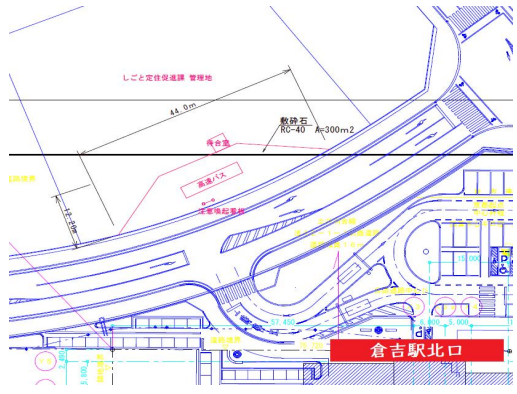
(単位：千円)

区 分	令和7年度末 現 在 高 A	令和8年度		令和8年度末 見 込 額 A+B-C	補正時における 増減
		積立見込額 B	取崩見込額 C		
国民健康保険財政調整基金	536,720	27,584	199,000	365,304	
介護保険財政調整基金	579,736	1,230	79,714	501,252	
公営企業等財政調整基金	39,171	86	0	39,257	
高城財産区財政調整基金	30,472	72	2,446	28,098	
土 地 開 発 基 金	21,958	50	1,000	21,008	
計	1,208,057	29,022	282,160	954,919	

令和 8 年 度 6 月 補 正 予 算 事 業 一 覧 (千円)

会計	歳入 歳出	款	項	目	大 事 業	担当課	事業名	ページ	補正額	うち一般財源
一般	歳入	14	2	1		財政	【歳入】物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金	6	41,300	0
〃	歳出	2	1	9	8	企画	総合交通対策（定住自立圏）	7	6,705	705
〃	〃	4	1	4	4	環境	市有墓地維持管理	8	4,366	66
〃	〃	6	1	3	88	農林	強風被害農作物緊急支援事業	9	4,111	2,037
〃	〃	6	1	3	99	農林	令和の米増産緊急支援事業	10	6,495	2,166
〃	〃	6	2	2	9	農林	森林病虫害等防除	11	1,200	0
〃	〃	2	1	7	64	しごと	【交付金事業】プレミアム商品券事業	12	23,300	0
〃	〃	2	1	7	51	観光	スポーツ活動振興	13	500	0
〃	〃	2	1	7	64	観光	【交付金事業】観光誘客促進支援事業	14	18,000	0
〃	〃	7	1	3	1	観光	観光一般	15	1,316	1,316
〃	〃	10	4	3	45	文化財	擲塚遺跡第4次発掘調査	16	2,460	0
〃	〃	3	1	1	12	福祉	自立支援制度管理	17	4,915	2,458
〃	〃	4	1	3	9	健康 推進	インフルエンザ等接種	17	198	198
〃	〃	8	2	3	3	建設	地方道路整備事業（地域活力基盤創造交付金）	18	50,000	2,500
〃	〃	8	2	3	11	建設	安全・安心生活空間の整備（社会資本整備総合交付金）	18	3,078	209
〃	〃	6	1	5	1	地域 整備	土地改良	19	2,500	2,500

担 当 課	財政課		施 策	28_健全な財政運営の継続			
事 業 名	【歳入】物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金					予算説明書ページ	7
補正予算	会計 一般	款 14 国庫支出金	項 2 国庫補助金	目 1 総務費補助金			
補正前	補正額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
45,686	41,300		41,300				0
事業の目的・意図							
【目的・意図】 「「強い経済」を実現する総合経済対策～日本と日本人の底力で不安を希望に変える～」に基づく、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者の支援を主たる目的とする事業を対象とする交付金。 【経過・背景】 令和7年11月21日に閣議決定した「「強い経済」を実現する総合経済対策～日本と日本人の底力で不安を希望に変える～」に係る重点支援地方交付金（国補正予算分）の内、令和7年度から令和8年度へ本省繰越を行ったものの一部について、補正を行うもの。							
事業の概要（積算根拠 等）							
【事業内容】 重点支援地方交付金を受け入れ、各事業に充当する。 【内訳】 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 41,300千円 ※推奨事業メニュー分 41,300千円 ※推奨事業メニュー分の充当先事業及び充当額は交付金充当事業一覧（P20）のとおり							
主な特定財源（名称、金額 等）							

担 当 課	企画課	施 策	23_生活地域を一体化する公共交通ネットワークの充実			
事 業 期 間	令和8年度		区分	新規		
事 業 名	総合交通対策（定住自立圏）					予算説明書ページ 9
補正予算	会計 一般	款 2 総務費	項 1 総務管理費	目 9 交通対策費		
補正前	補正額（千円）	左の	国	県	地方債	その他 一般財源
27,505	6,705	財源内訳			6,000	705
目的・意図						
高速バス東京便の乗入れを可能とするバス停を整備することにより、首都圏と本市を結ぶ公共交通ネットワークの充実を図るとともに、若者を中心とした交流人口の拡大に寄与するもの。						
経過・背景						
昭和63年5月から本市と東京を結ぶ高速バスが運行されていたが、コロナ禍の影響により、令和3年3月に廃便され、以降、市議会をはじめ、商工会議所や観光団体等から高速バス東京便の復便を求める要望があったところ。 映画「遙かな町へ」の公開や「ぼうさいこくたい2026in鳥取」の開催等、首都圏からの誘客が期待できる今秋までの復便を目標に、県内外の交通事業者と交渉を行ってきた結果、現在、出雲を発着地として東京便を運行中の県外の交通事業者から「倉吉駅北口経由の東京便の運行に向けて検討する」旨の回答があったもの。						
事業効果						
・高速バス東京便の復便による首都圏と本市を結ぶ公共交通ネットワークの充実 ・高速バス東京便の復便による若者を中心とした交流人口の拡大						
事業内容						
令和8年秋の供用開始を目標に、倉吉駅北口付近にバス停等を整備する。 ＜整備概要＞ ■整備場所 倉吉駅北口市管理地（12街区内） ■整備内容 バス待合設置（BOXタイプ・1基） 高速バス進入路の整備（砕石転圧・300㎡） 注意喚起看板等の設置						
						
内訳						
■工事請負費 ・高速バス東京便バス停等整備工事 6,705千円						
特定財源						
【地方債】地域活性化事業債 6,000千円（充当率90%）						
全体事業費						
財 源 内 訳		全体計画	R 8 年度	R 9 年度	R 10年度以降	
	事業費	6,705	6,705			
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債	6,000	6,000			
	その他					
	一般財源	705	705			

担 当 課	環境課		施 策	20_再生可能エネルギーの活用と自然環境の保全		
事 業 期 間	令和8年度～ 令和9年度			区分	新規	
事 業 名	市有墓地維持管理					予算説明書ページ 9
補正予算	会計 一般	款 4 衛生費	項 1 保健衛生費	目 4 環境衛生費		
補正前	補正額（千円）	左の	国	県	地方債	その他 一般財源
470	4,366	財源内訳			4,300	66
目的・意図						
市有墓地及びその周辺の安全の確保を図るため、危険個所の改善等を行うもの。						
経過・背景						
上神地内において、長年のため池の水圧の変化による影響に加え、令和8年2月の大雪により、市有墓地と隣接するため池の境界付近の樹木がため池側へ倒れ、道・法面が崩壊し（幅約5m、高さ2～3m、延長約40m）、墓参が困難な状況となっている。						
全景  近景①  近景②  養生後 						
事業効果						
市有地の適正管理、墓参できる環境の確保						
事業内容						
従前どおり墓参ができるよう道・法面の修繕整備を行うため、測量設計業務を行う。 ■場所 倉吉市上神797番地 ■スケジュール ・令和8年度 測量設計：8月下旬～2月 ・令和9年度 復旧工事：8月下旬～2月						
内訳						
委託料 4,366千円 ・倉吉市上神地内市有墓地崩壊復旧測量設計業務委託料 ※決算見込額4,366千円－現計予算額0千円＝補正額4,366千円						
特定財源						
【地方債】 自然災害防止事業債（緊急自然災害防止対策事業債（急傾斜地崩壊対策）） 4,366千円×充当率100% ≒ 4,300千円 ※決算見込額4,300千円－現計予算額0千円＝補正額4,300千円						
全体事業費						
財源内訳		全体計画	R 8 年度	R 9 年度	R 10年度以降	
	事業費	34,366	4,366	30,000		
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債	34,300	4,300	30,000		
	その他					
	一般財源	66	66			

担 当 課		農林課		施 策		01_農畜水産業の振興						
事 業 期 間		令和8年度				区分		新規				
事 業 名		強風被害農作物緊急支援事業					予算説明書ページ		10			
補正予算		会計	一般	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費			
補正前		補正額（千円）		左の		国		県		地方債	その他	一般財源
0		4,111		財源内訳				2,074				2,037
目的・意図												
強風に伴う農作物への緊急防除、苗の植え替え、施設の復旧等の支援を県と協調し早期に実施し、産地の維持発展と本市特産物の生産振興を図るもの。												
経過・背景												
令和8年4月4日の強風により、スイカを中心とする園芸品目と農業用施設に被害が発生したことから、生産者が安心して継続的に生産活動ができるよう、県が農作物緊急防除及び苗植替え支援事業を新設した。生産者の営農意欲の向上と本市特産物の生産振興を図るため、県と協調した早急な復旧対応が求められている。												
事業効果												
産地の維持と市農産物の生産振興												
事業内容												
①農作物緊急防除支援事業 病虫害の蔓延を防ぐための緊急防除に要する経費について2/3を支援。 ②農作物苗植替え支援事業 枯死等の被害を受けて収穫の見込めない苗の植替について苗代の2/3を支援。 ③農業用施設等復旧対策事業 再生産に伴う既存施設の撤去費用について1/2を支援。												
内訳												
負担金補助及び交付金 強風被害農作物緊急支援事業費補助金 4,111千円 ①農作物緊急防除支援事業 事業内容：病虫害の蔓延を防ぐための緊急防除 補助率：2/3 [県1/3、市1/3] 補助金：6,300円/10a（上限単価）×7,800a×2/3=3,276千円 ②農作物苗植替え支援事業 事業内容：枯死等の被害を受けて収穫の見込めない苗の植替 補助率：2/3 [県1/3、市1/3] 補助金：5,000本×216円（税込）×2/3=720千円 ③農業用施設等復旧対策事業 事業内容：再生産に伴う既存施設の撤去 補助率：1/2 [県1/3、市1/6] 補助金：1,300円/㎡（上限単価）×176㎡×1/2≒115千円												
特定財源												
【県】強風被害農作物緊急支援事業費補助金 2,074千円												
全体事業費												
財源内訳		全体計画			R 8 年度			R 9 年度			R 10年度以降	
		事業費			4,111			4,111				
		国庫支出金										
		県支出金			2,074			2,074				
		地方債										
		その他										
	一般財源			2,037			2,037					

担 当 課	農林課		施 策	01_農畜水産業の振興			
事 業 期 間	令和 8 年度			区 分	新規		
事 業 名	令和の米増産緊急支援事業					予算説明書ページ	10
補正予算	会計 一般	款 6 農林水産業費	項 1 農業費	目 3 農業振興費			
補正前	補正額（千円）	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
	0	財源内訳		4,329			2,166
目的・意図							
主食用米の生産拡大を志向する多様な農業経営体の省力化、低コスト化に必要な機械導入を緊急的に支援することで、市内における主食用米の生産力を増強するもの。							
経過・背景							
国内における需要に応じた米生産が求められる中、倉吉市内においても引き続き水稻の生産拡大が求められており、令和 7 年度と比較し作付面積20%以上の増産を目指す農家を支援するもの。							
事業効果							
市内における主食用米の生産拡大と機械導入による農業者の作業の省力化。							
事業内容							
主食用米作付面積の拡大に必要となる機械及び設備の導入経費について1/2を支援。							
内訳							
負担金補助及び交付金 令和の米増産緊急支援事業費補助金 6,495千円 事業主体：4事業体(R7からR9までに20%以上増産する市内の個人農家、法人組織) 事業内容：増産に必要な機械及び設備の導入を支援 補助率：1/2 [県1/3、市1/6] 導入機械：ロータリ、トラクター 2 台、サイバーハロー 補助金：総事業費12,988,500円×1/2=6,494,250円							
特定財源							
【県】令和の米増産緊急支援事業費補助金 4,329千円							
全体事業費							
		全体計画	R 8 年度	R 9 年度	R 10年度以降		
	事業費	6,495	6,495				
財 源 内 訳	国庫支出金						
	県支出金	4,329	4,329				
	地方債						
	その他						
	一般財源	2,166	2,166				

担 当 課	農林課			施 策		04_森林の適正な保全				
事 業 名	森林病虫害等防除						予算説明書ページ		10	
補正予算	会計	一般	款	6 農林水産業費	項	2 林業費	目	2 林業振興費		
補正前	補正額（千円）		左の 財源内訳	国	県		地方債		その他	一般財源
738	1, 200				1, 200					0
事業の目的・意図										
【目的・意図】 森林の保全を図り、森林の持つ公益的機能を維持することを目的とし、松くい虫及びナラ枯れ等の森林病虫害の駆除及びまん延防止対策を実施するもの。										
【経過・背景】 森林の持つ公益的機能の維持・増進が求められるなか、ナラ枯れ対策については、特に大山周辺の被害木を駆除するとともに、予防対策や若返り対策の実施により被害拡大を防いでおり、引き続き、若返り対策により被害を受けにくい森林へ誘導していく必要がある。										
事業の概要（積算根拠 等）										
【事業内容】 森林病虫害等の駆除、まん延防止を図るため、被害木の伐倒・薬剤処理にかかる経費を補助するもの。										
【内訳】 負担金補助及び交付金 ナラ枯れ被害林等若返り対策事業費補助金(県10/10) 1, 200千円 追加対象地区：関金町明高 6 ha 200千円/ha× 6 ha										
主な特定財源（名称、金額 等）										
【県】 ナラ枯れ被害林等若返り対策事業費補助金(10/10) 1, 200千円										

担 当 課	しごと定住促進課			施 策	02_企業が持つ特性・特色を活かした商工業の振興			
事 業 期 間	令和 8 年度				区 分	拡充		
事 業 名	【交付金事業】プレミアム商品券事業					予算説明書ページ	9	
補正予算	会計	一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	7 企画費
補正前	補正額（千円）		左の	国	県	地方債	その他	一般財源
0	23,300		財源内訳	23,300				0
目的・意図								
エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた市民の消費の下支えによる、地域経済の好循環を図るもの。								
経過・背景								
重点支援地方交付金を活用し、生活者支援及び事業者支援として、プレミアム付きデジタル商品券を発行している。4月に第4弾として25,000口を販売したところ、販売開始後3日で売り切れたことから、購入希望者に行き渡るよう販売口数を増やすもの。								
事業効果								
プレミアム付きデジタル商品券のキャンペーン1回あたりの発行口数を増やすことによって、より多くの市民に商品券が行き渡ることとなり、更なる経済負担の軽減が期待される。								
事業内容								
・ 今後実施するキャンペーンの第6弾、第7弾の販売口数を各1,000万円分（10,000口）ずつ増やす。 現状：1回あたり2,500万円（25,000口） → 増加後：1回あたり3,500万円（35,000口） ・ 市民限定で先着販売。第5弾からは各弾で分割購入（10回まで）が可能。 ・ プレミアム原資1.2億円をもとに総消費額7.2億円を見込む。 ・ 市内対象店舗で利用できるプレミアム付きデジタル商品券を発行する。 ・ 1口5,000円で6,000円分（プレミアム率20%）となるデジタル商品券を販売する。 （1人最大10口まで購入可能） <スケジュール（予定）> R 8. 4月～ 第4弾販売・利用開始（～9月） ※25,000口完売 6月～ 第5弾販売・利用開始（～9月） ※25,000口発行 8月～ 第6弾販売・利用開始（～R 9. 1月） ※25,000口発行予定→35,000口 10月～ 第7弾販売・利用開始（～R 9. 1月） ※25,000口発行予定→35,000口								
内訳								
委託料 23,300千円 ・ プレミアム付きデジタル商品券 23,300千円 プレミアム原資20,000千円、手数料3,300千円								
特定財源								
【国】物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 23,300千円								
全体事業費（令和7年度から8年度への繰越事業費を含む）								
財源内訳		全体計画	R 8 年度		R 9 年度		R 10年度以降	
	事業費	124,012	124,012					
	国庫支出金	115,236	115,236					
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源	8,776	8,776					

担 当 課	観光交流課		施 策	05_地域資源を活かした観光の振興			
事 業 名	スポーツ活動振興					予算説明書ページ	9
補正予算	会計 一般	款 2 総務費	項 1 総務管理費	目 7 企画費			
補正前	補正額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源
34,877	500					500	0
事業の目的・意図							
【目的・意図】 スポーツクライミング聖地化に向けた体験会、競技会支援及び合宿誘致等を推進し、クライミングのまち倉吉の定着を図るもの。 【経過・背景】 ・スポーツクライミングの聖地にむけたこれまでの活動の中で、中部地区内にオリンピックが狙えるトップ選手が誕生し、そういった選手の活動を支援したいという企業も出てきたところ。 ・日本のトップ選手の活動を支援し世界的に活躍することにより、倉吉市スポーツクライミング関連事業の拡大、ひいては経済効果の創出に繋がり、さらなる地域の活性化を図るもの。							
事業の概要（積算根拠 等）							
【事業内容】 倉吉市スポーツクライミング聖地化推進協議会に負担金として支出し、中部地区選出の日本トップ選手の活動を支援するもの。 【内訳】 倉吉市スポーツクライミング聖地化推進協議会負担金 500千円							
主な特定財源（名称、金額 等）							
【その他】 倉吉ふるさと未来づくり基金繰入金 500千円							

担 当 課	観光交流課			施 策		05_地域資源を活かした観光の振興					
事 業 期 間	令和 8 年度					区分		新規			
事 業 名	【交付金事業】観光誘客促進支援事業							予算説明書ページ		9	
補正予算	会計	一般	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	7	企画費
補正前	補正額（千円）		左の		国	県		地方債		その他	一般財源
0	18,000		財源内訳		18,000						0
目的・意図											
宿泊業をはじめとする地域観光産業の底上げを図るため、宿泊割引キャンペーンを行い、観光客の増加及び観光消費額の拡大、宿泊者数の確保を目指す。											
経過・背景											
物価高騰により光熱費等運営経費が増加する一方、旅行者においても日帰り旅行の増加など、宿泊者数の減少が懸念されており、宿泊業者をはじめ観光関係事業者の支援が必要となっている。											
事業効果											
・ 宿泊者数の増加による宿泊事業者への支援 ・ 宿泊者数の増加に伴う観光客の滞在時間延伸による観光消費の拡大 ・ 地域観光の活性化											
事業内容											
倉吉市宿泊キャンペーン ①実施時期 令和 8 年 9 月～令和 9 年 1 月末（予約開始：8 月中旬） ②宿泊割引額 3,000円/人・泊 ③対象人数 4,000人 ④実施内容 宿泊予約サイトを通じ予約された方に対し、1 人 1 泊につき3,000円の割引を行う。											
内訳											
委託料 観光客等誘致促進事業委託料 18,000千円 （内訳）宿泊割引クーポン12,000千円、広報宣伝費2,500千円、事務費等3,500千円											
特定財源											
【国】物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 18,000千円											
全体事業費											
財 源 内 訳		全体計画			R 8 年度		R 9 年度		R 10年度以降		
	事業費	18,000			18,000						
	国庫支出金	18,000			18,000						
	県支出金										
	地方債										
	その他										
	一般財源										

担 当 課	観光交流課		施 策	05_地域資源を活かした観光の振興			
事 業 期 間	令和8年度～ 令和10年度			区分	新規		
事 業 名	観光一般					予算説明書ページ	10
補正予算	会計 一般	款 7 商工費	項 1 商工費	目 3 観光費			
補正前	補正額（千円）	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
20,902	1,316	財源内訳					1,316
目的・意図							
鳥取県中部地域は多様な観光資源を有する一方、本市中心部及び倉吉駅周辺における滞在・消費が弱く、通過型観光となっていることが課題となっている。そこで、倉吉駅を「倉吉観光の起点」と位置付け、人流データの分析による商品造成や、観光戦略設計を一体的に実施するため、(一社)鳥取中部観光推進機構に外部専門家を新たに配置することで、「通過型観光から滞在型観光」への転換を図り、観光消費額の最大化を推進するもの。							
経過・背景							
・秋に公開される映画「遙かな町へ」を契機として、県外からの観光客増加が見込まれるが、現在は倉吉駅から公共交通機関を活用した誘客手段が不足している状況にあり、二次交通利用率や回遊率の向上が急務である。 ・また、観光客の回遊導線のデータを分析し、今後も継続して来倉していただくための取り組みが必要である。 ・外部専門家の配置にあたっては、地域活性化起業人制度（副業型）を活用し、本市が広域の代表として、外部専門家の受入主体となり、(一社)鳥取中部観光推進機構で業務を実施する。							
事業効果							
・倉吉駅を核とした観光導線の確立 ・データ分析・観光DX等の専門分野の強化							
事業内容							
外部専門家を委託し人流データ分析、観光商品造成等を行う。 活動内容 1) データ分析：観光データ統合 2) 回遊導線DX：駅起点の観光導線設計 3) 商品造成：高単価観光商品の企画・開発 4) 戦略設計：ターゲット設定・ブランド設計 5) DX人材育成：事業者向け研修実施							
内訳							
委託料 外部専門家委託料 地域活性化起業人活用委託料 1,316千円							
特定財源							
全体事業費							
		全体計画	R 8 年度	R 9 年度	R 10年度以降		
	事業費	5,922	1,316	1,974	2,632		
財 源 内 訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	5,922	1,316	1,974	2,632		

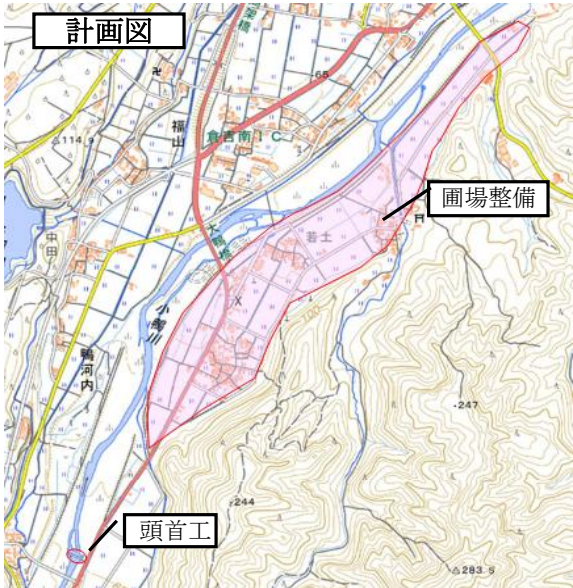
担 当 課	文化財課			施 策	15_文化財の保存、活用、伝承															
事 業 名	擲塚遺跡第 4 次発掘調査						予算説明書ページ	11												
補正予算	会計	一般	款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	3 文化事業費												
補正前	補正額（千円）		左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源												
0	2, 460						2, 460	0												
事業の目的・意図																				
【目的・意図】 開発に伴い、遺跡が影響を受ける範囲において、埋蔵文化財の記録を保存するため、発掘調査を行うもの。 【経過・背景】 当初計画にない開発事業等が生じた場合、緊急での対応が求められるため、現地の発掘調査経費については「緊急発掘調査事業」の予算で対応している。現地調査が完了し、事業費全体が確定したため、今後行う内務整理作業（出土品・図面整理、報告書刊行）に係る経費と合わせて補正するもの。																				
事業の概要（積算根拠 等）																				
【事業内容】 工事の影響を受ける範囲の発掘調査を開発事業者から市が受託して実施する。※原因者負担 〔擲塚（たたきづか）遺跡第 4 次発掘調査概要〕 調査地点：倉吉市国府 調査契機：店舗建設 調査面積：830㎡ 実施内容：現地調査及び内務整理 【内訳】 <table><tr><td>人件費</td><td>1, 847千円</td><td>会計年度任用職員 発掘作業員 延73人、内務作業員 1 人、発掘調査補助員 1 人</td></tr><tr><td>需用費</td><td>531千円</td><td>発掘調査消耗品、燃料費、印刷製本費</td></tr><tr><td>役務費</td><td>2千円</td><td>し尿汲取り手数料</td></tr><tr><td>使用料及び賃借料</td><td>80千円</td><td>自動車借上料・仮設トイレ等器具借上料</td></tr></table>									人件費	1, 847千円	会計年度任用職員 発掘作業員 延73人、内務作業員 1 人、発掘調査補助員 1 人	需用費	531千円	発掘調査消耗品、燃料費、印刷製本費	役務費	2千円	し尿汲取り手数料	使用料及び賃借料	80千円	自動車借上料・仮設トイレ等器具借上料
人件費	1, 847千円	会計年度任用職員 発掘作業員 延73人、内務作業員 1 人、発掘調査補助員 1 人																		
需用費	531千円	発掘調査消耗品、燃料費、印刷製本費																		
役務費	2千円	し尿汲取り手数料																		
使用料及び賃借料	80千円	自動車借上料・仮設トイレ等器具借上料																		
主な特定財源（名称、金額 等）																				
【その他】遺跡発掘調査事業収入 2, 460千円																				

担 当 課	福祉課		施 策	07_障がい者の社会参加と自立促進				
事 業 名	自立支援制度管理						予算説明書ページ	9
補正予算	会計 一般	款 3 民生費	項 1 社会福祉費	目 1 社会福祉総務費				
補正前	補正額（千円）	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
7,554	4,915	財源内訳	2,457					2,458
事業の目的・意図								
【目的・意図】 令和8年6月サービス（7月受付）提供分より、新たな報酬の請求を行えるよう障がい者福祉システムの改修を行うことで、事業者からの給付費請求に対する適切な支払審査の実施及び支給管理業務を遅滞なく遂行できるようにするもの。 【経過・背景】 厚生労働省による「令和8年度障害福祉サービス等報酬改定」に伴い、給付費の算定基準、新たな加算の創設、および請求コードの変更等が実施される。								
事業の概要（積算根拠 等）								
【事業内容】 障害福祉サービス等報酬改定に伴う、障がい者福祉システムの改修。 【内訳】 委託料 4,915千円								
主な特定財源（名称、金額 等）								
【国】障がい者総合支援事業費等補助金 2,457千円								

担 当 課	健康推進課		施 策	10_健康づくりの推進				
事 業 名	インフルエンザ等接種						予算説明書ページ	9
補正予算	会計 一般	款 4 衛生費	項 1 保健衛生費	目 3 予防費				
補正前	補正額（千円）	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
123,253	198	財源内訳						198
事業の目的・意図								
【目的・意図】 市民全体の免疫水準を維持し、多くの人を感染症から守るため予防接種を実施するもの。 【経過・背景】 令和7年11月の厚生科学審議会基本方針部会において、高齢者のインフルエンザ定期接種で使用するワクチンに、高用量インフルエンザワクチンが追加され、その対象が75歳以上の者とされたことによるもの。								
事業の概要（積算根拠 等）								
【事業内容】 65歳からの高齢者のインフルエンザ定期接種において、75歳以上の者の接種が、標準量ワクチンと高用量ワクチンとの選択接種となるため、健康管理システムに必要な改修を行うもの。 【内訳】 役務費 198千円（健康管理システム改修）								
主な特定財源（名称、金額 等）								

担 当 課	建設課			施 策		22_安全で快適に移動できる道路ネットワークの構築			
事 業 名	地方道路整備事業（地域活力基盤創造交付金）						予算説明書ページ		11
補正予算	会計	一般	款	8 土木費	項	2 道路橋梁費	目	3 道路新設改良費	
補正前	補正額（千円）		左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
51, 205	50, 000			25, 500		22, 000		2, 500	
事業の目的・意図									
【目的・意図】 社会資本整備総合交付金を活用し、車両通行の円滑化や歩行者の安全を確保するため、市道における安全で快適な生活道路の整備を推進するもの。 【経過・背景】 国からの社会資本整備総合交付金の配分があったため、社会資本整備総合交付金の対象施策である、道路改良事業を行うもの。									
事業の概要（積算根拠 等）									
【事業内容】 社会資本整備総合交付金を活用して市道の改良工事を行う。 【内訳】 工事請負費 50,000千円（決算見込額101,205千円－現計予算額51,205千円） 市道西倉吉北野線道路改良工事									
主な特定財源（名称、金額 等）									
【国】社会資本整備総合交付金（補助率51%） 25,500千円 ・事業費50,000千円×51%≒25,500千円 【地方債】地域活力基盤創造交付金事業債（充当率90%） 22,000千円 ・（起債対象事業費50,000千円－国庫25,500千円）×90%≒22,000千円									

担 当 課	建設課			施 策	22_安全で快適に移動できる道路ネットワークの構築				
事 業 名	安全・安心生活空間の整備（社会資本整備総合交付金）						予算説明書ページ		11
補正予算	会計	一般	款	8 土木費	項	2 道路橋梁費	目	3 道路新設改良費	
補正前	補正額（千円）		左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源	
99,625	3,078			1,569		1,300		209	
事業の目的・意図									
【目的・意図】 社会資本整備総合交付金を活用し、道路法面整備、道路側溝整備等を行うことで、道路施設等の的確な維持管理を図り、安全で安心できる生活空間の整備を推進するもの。									
【経過・背景】 国からの社会資本整備総合交付金の配分があったため、社会資本整備総合交付金の対象施策である側溝整備事業等を行うもの。									
事業の概要（積算根拠 等）									
【事業内容】 社会資本整備総合交付金を活用し、側溝整備工事等を行う。									
【内訳】 工事請負費 3,078千円（決算見込額102,703千円－現計予算額99,625千円） 和田東町井手畑線側溝改良工事									
主な特定財源（名称、金額 等）									
【国】社会資本整備総合交付金（補助率51%） 1,569千円 ・道路修繕：事業費 3,078千円×51%＝1,569千円									
【地方債】安全安心生活空間整備交付金事業債 1,300千円 ・道路補修：（起債対象事業費3,078千円－国庫1,569千円）×90%≒1,300千円									

担 当 課	地域整備課		施 策	24_都市と自然・歴史・文化が調和した拠点連携型のまちづくりの推進				
事 業 期 間	令和8年度～ 終期末定			区 分	新規			
事 業 名	土地改良				予算説明書ページ	10		
補正予算	会計 一般	款 6 農林水産業費	項 1 農業費	目 5 農地費				
補正前	補正額（千円）	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
53,421	2,500	財源内訳					2,500	
目的・意図								
農業生産性の向上及び農地経営の発展を図るため、農地整備や水利施設の改修について、県が実施する予備調査の費用の一部を負担金として支払うもの。								
経過・背景								
若土土地改良区より農業生産性の向上、担い手への農地集積・集約化のための圃場整備及び令和4年に崩壊した頭首工改修について、要望が出ている。								
事業効果								
農作業の効率化、農業生産性の向上、農地の有効活用、農業用水の安定供給。								
事業内容								
県営事業を実施するために必要な計画策定に先立って行う予備調査に係る費用の一部を県に負担するもの。 事業名：単県土地改良事業調査 地区名：若土地区 事業内容：区画整理A=28ha、頭首工改修N=1箇所 事業期間：令和8年度 事業費：5,000千円								
 頭首工(現況)		 計画図						
内訳								
負担金補助及び交付金 土地改良事業調査費負担金 2,500千円 5,000千円×1/2=2,500千円（県：50% 市：50%）								
特定財源								
全体事業費（令和8年度のみを計上）								
		全体計画	R 8 年度	R 9 年度	R 10年度以降			
	事業費	2,500	2,500					
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源	2,500	2,500					

【資料】

交付金充当事業一覧（推奨事業メニュー分のみ）

【6月補正の歳入充当事業】

(単位:千円)

予算	所属課名称	款	項	目	大 事 業	中 事 業	中事業名称	事業費	国	国(臨交)	県	市債	その他	一財	主な事業内容ほか
6	しごと定住促進課	2	1	7	64	3	プレミアム商品券事業	23,300		23,300				0	今後実施するプレミアム付きデジタル商品券キャンペーンの第6弾と第7弾の販売口数を、各10,000口ずつ増加 委託料23,300千円(プレミアム原資20,000千円、手数料3,300千円)(25,000口→35,000口)
6	観光交流課	2	1	7	64	4	観光誘客促進支援事業	18,000		18,000				0	宿泊割引キャンペーン 委託料18,000千円(宿泊割引クーポン12,000千円(@3,000円×4,000人)、広報宣伝費2,500千円、事務費等3,500千円) ※実施時期:令和8年9月～令和9年1月末
計								41,300	0	41,300	0	0	0	0	
臨時交付金＋一般財源														41,300	

【これまでの歳入充当事業】

予算	所属課名称	款	項	目	大 事 業	中 事 業	中事業名称	事業費	国	国(臨交)	県	市債	その他	一財	主な事業内容ほか
計								29,923	0	45,686	4,545	0	△ 13,916	△ 6,392	
臨時交付金＋一般財源														39,294	

【令和8年度における歳入充当事業の合計】

予算	所属課名称	款	項	目	大 事 業	中 事 業	中事業名称	事業費	国	国(臨交)	県	市債	その他	一財	主な事業内容ほか
計								71,223	0	86,986	4,545	0	△ 13,916	△ 6,392	
臨時交付金＋一般財源														80,594	